

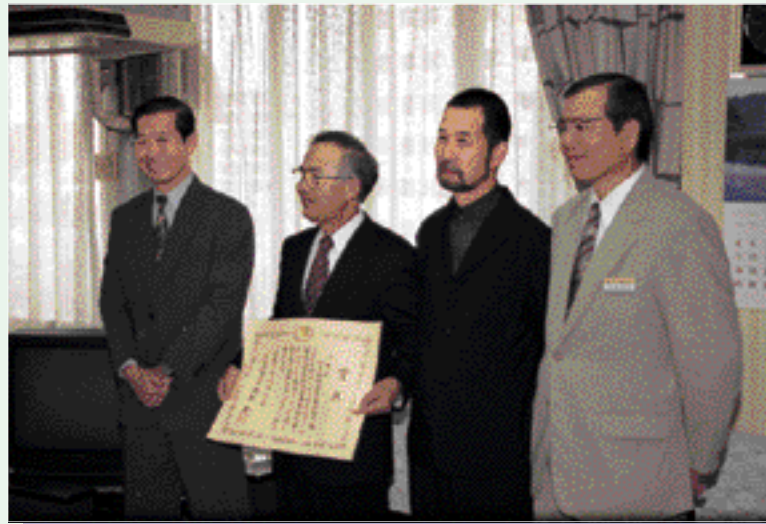
広報 いへや

3月号

新しい産業の創出と、豊かな村づくりを目指して
 伊平屋漁協農林水産大臣賞授賞式
 ヒラメ養殖場開所式
 J A合併臨時総会開かれる
 健全な県単—J Aの実現へ
 入居者募集 - 村営住宅 -
 村職員の定員管理及び給与等についてのご報告
 いへや村通信
 体協バレーボール大会 熱戦そして激戦!
 我喜屋ダム取水堰完成 村民を水害から守り...
 村内美観二題 花いっぱい美しい島に外
 赤い羽根・歳末助け合い運動
 村長室の窓から『よく聴く』
 村の情景 『春の訪れ』

No.131

新しい産業の創出と、豊かな村づくりを目指して



昨年の11月24日に田名地区に農業漁業体験実習館が完成し、その落成記念式典が開催されました。この施設は伊平屋村農山漁村空間活用型都市農村交流施設として整備されました。この農業漁業体験実習館の整備については、従来の整備の反省を踏まえ、いくつかの改善を行いました。その一つとして、計画・実施設計、そして事業実施に十二分に時間をかけるようにしました。特に実施設計については一年間という長い時間をとりました。利用する区民からの意見を聴き、最大限実施設計にそれを反映しました。区長や建設委員会にあたる公民館建設期成会の皆様との話し合いは実に七回以上にものぼりました。区民や期成会の意見は大変活発でありました。それもその筈です。田名地区においては唯一の公共建物ですから、皆が自らの施設との思いも大きいものがあります。ところが意見が活発になればなるほど担当者の調整は、それこそ大変です。補助金要項との闘いになります。よく聴けば聴くほど宿題となるのです。「ここはこうした方がよい」あーでもない、こーでもない調整は難航を極めました。そして1年、ようやく纏まり、事業実施となりました。区民や期成会の皆様から言いますと、自らの意見を聞いてもらった施設として真に「自分たちの施設」が完成したのであります。落成祝賀会では、田名区に伝わる全ての伝統芸能が披露されました。また沖縄本島在住の郷友会の多くの皆様喜んで参加してくださいました。期成会、区民、郷友の皆様が一つになった瞬間でした。落成式典や祝賀会の中に身を置きながら、「よく聴く」事の大切さを噛み締めました。

さて、これからが大切であります。この施設は宿泊研修施設、図書室、大ホール等で、隣接して整備したふれあい広場と合わせて農林漁業体験、自然ふれあい体験、工芸体験、スポーツ交流など都市住民との地域間交流活動を促進できる施設となっており、村内でもよく整備された施設となっております。この施設が完成したことに伴い、若者や婦人、高齢者等の地域活動が活性化され、また農村と都市との交流をとおして都市住民が生産現場に対する理解が深められることによって米、サトウキビ、モズクをはじめとする地場産業の育成が一層図られるものと期待されています。

新年を迎えはや2月となりましたが、実施設計に関わった意見を「よく聴く」の初心に帰り、皆が参画できる施政運営を願うものであります。



平成14年 2月 21日

伊平屋村長 西 銘 真 助

日付	曜日	行事	備考
2月1日	金	10:00 課長会	
2月2日	土		
2月3日	日	9:00 村体協バレーボール大会	
2月4日	月		
2月5日	火	14:00 喜舎場琉米歴史研	
2月6日	水	12:00 島嶼学会運営会議	沖縄国際大学
2月7日	木	14:00 総合事務局運輸部	
2月8日	金		
2月9日	土		
2月10日	日		
2月11日	月	公休	
2月12日	火	10:00 課長会	
2月13日	水		
2月14日	木	18:00 儀間浦添市長1周年	宜野湾市内
2月15日	金		
2月16日	土	9:30 保育所20周年	
2月17日	日	14:00 村学力向上推進実践発表会	
2月18日	月	13:30 空港課	那覇市内
2月19日	火		
2月20日	水		
2月21日	木	14:30 地域活性化セミナー	
2月22日	金	10:00 病院管理局	
2月23日	土		
2月24日	日		
2月25日	月	15:00 吉川沖大教授	
2月26日	火	13:00 山中貞則氏	
2月27日	水		
2月28日	木		

伊平屋村人口動態

区名	世帯	男	女	合計
田名	124	171	179	350
前泊	100	157	150	307
我喜屋	167	237	216	453
島尻	127	219	193	412
野甫	54	63	60	123
合計	572	847	798	1,645

平成14年2月1日現在

村の情景 Release No.10

春の訪れ

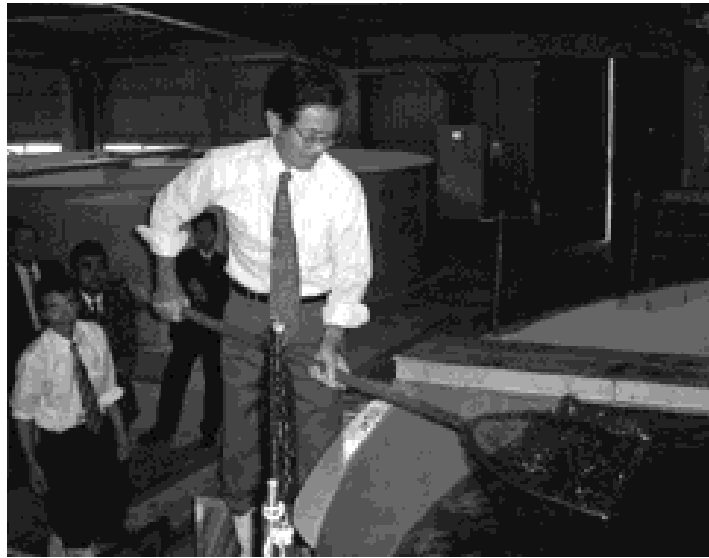


季節感の乏しい沖縄ですが、中でも自然の恵みは、季節の変わり目を知らせてくれます。冷たい北風が吹く二月、島尻区の海岸で、アーサ採りをしている光景を目にしました。アーサも今が食べ頃。きっと、村内の家庭の食卓を賑わしたことでしょね。

表紙写真：左上 / 「海の学校」農林水産大臣賞授賞
 右上 / 施設池入れ式
 下 / ヒラメ養殖所開所式

編集発行

〒905-0793 伊平屋村字我喜屋 251 番地 伊平屋村役場 総務課 担当 徳田美恵
 TEL: 0980-46-2001 FAX: 0980-46-2956 MAIL: tokuda@vil.ihaya.okinawa.jp
 印刷 / 文進印刷株式会社 TEL: 098-994-5777



校 高校の修学旅行も受け入れし、注目を浴びているだけでなく、実績も積んでいる「海の学校」。本年も従来通り三〇〇人程の受講が予定されているとのこと。新たな観光産業として、また村の活性化を図る意味でも、村民としても応援していきたいですね。



「ヒラメ養殖所」開所式
 国の補助事業としてスタートし、五年間の実験を経て、昨年十二月十二日に伊平屋村漁協のヒラメ養殖場開所式が行われました。これまではモズクやアサ、シャコ貝、タカセ貝などの養殖を行っていましたが、今回のヒラメ養殖場は、伊是名村、伊江村、恩納村の四村が共同しての事業で、生産施設から販売施設の経路を確立し、新たな養殖事業を展開しよう

というもの。
 またこの事業は、養殖技術の習得と加速を目的としたもので、ハード面だけではないソフトとしての技術者養成としての側面も持っています。西銘漁協長も、水産物の複合化を目指し、新たな事業の創造したいという目標を持っているとのこと、これからの展開が期待されています。
 伊平屋産の高級魚ヒラメがいろいろんな人々の食卓に上る日も近いことでしょう。



上 総合事務局長との懇談風景
 中 仁部署夫所長の池入れ
 下 助役養殖所長を中心にアソビカット



沖縄総合事務局での受賞風景

新しい産業の創出と
豊かな村づくりを
目指して

伊平屋村漁協が、「海の学校」の取り組みで、農林水産大臣賞を受賞。そして、ヒラメ養殖場を開所して、伊平屋村ならではの新しい産業興しを図っています。

「海の学校」 農林水産大臣賞受賞

農林水産省が毎年一月二三日の勤労感謝の日を中心に実施している農林水産祭の表彰事業のむらづくり部門において、伊平屋村漁業協同組合（代表者 西銘仁正組合長）における「海の学校」（今井輝光学校長）の取り組みが優良事例として認められ、農林水産大臣賞に決定し、二〇〇一年一月二十七日、沖縄総合事務局で伝達式が開かれました。当日は、今井輝光学校長、西銘真助村長の同席のもと、西銘仁正漁協長へ表彰状が手渡されました。

「海の学校」は、伊平屋村漁協と、今井学校長が経営するライフスタイル研究スタジオ29との共同事業で運営されている地域密着型の取り組みです。

で、一九九五年に開校され、これまでに延べ二〇〇〇人の人々が参加しています。県内での農林水産大臣賞受賞は、八団体目で、漁協としては初めて。伊平屋村漁協も、これまでの活動が評価された喜びに湧いています。
 伊平屋村のウミンチュの皆さんが主体となって、観光客を呼び込む滞在型観光として全国的にも注目を浴びている「海の学校」。ダイビングの技術を習得する海洋スポーツ教室、モズク漁や伊勢エビ捕りなどによって海の豊かさを学ぶ漁業教室などのコースを体験し、伊平屋村ならではの人情と、自然、色彩を満喫した皆さんから、普段の生活では経験できないことがいっぱい

で、何度でも来たいという声がたくさん寄せられているそう。ゆったりとした南の島伊平屋での時間を過ごす姿が見られます。
 そこで、受賞された西銘漁協長に話を伺いました。「この海の学校は、六年かけて温めてきた事業で、今回は、たくさんの方々の支援があつてこそ受賞だと思っています。また村の活性化も含めて、ビジネスとしての構築を図りたいですね。これからは、漁協の事業から切り離して、プロジェクトチームを発足させ、会社方式で、更なる発展を図りたいと思っています。本当にいろいろんな人達の協力でここまでこぎ着けることができました。ありがとうございます」と語ってくれました。
 二〇〇一年は、本土の小学

入居者募集 村営住宅

平成13年度以降の村営住宅への入居順位を、あらかじめ抽選により決定するものです。

受付期間

平成十四年三月十一日（月）から
平成十四年三月二十二日（金）午後五時まで

申込方法

村役場建設課より申請書を受け取り必要書類を揃えてお申込み下さい。

対象者

- 一、村内に住所を有するものであること。
- 二、現に住宅に困窮していることが明らかなるものであること。
- 三、公共料金（電気・ガス・水道）税金等の完納者であること。
- 四、連帯保証人（一定以上の収入のある方一名が必要）

家賃

所得に応じて算定

住宅形式

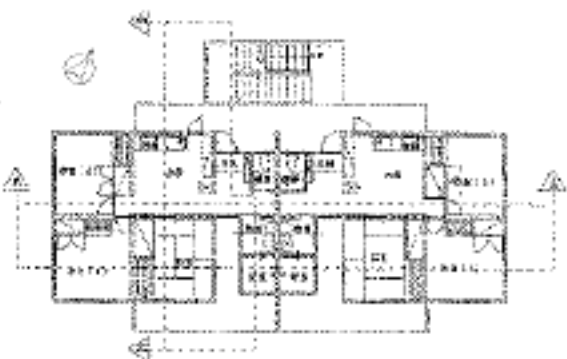
3LDK

予定戸数

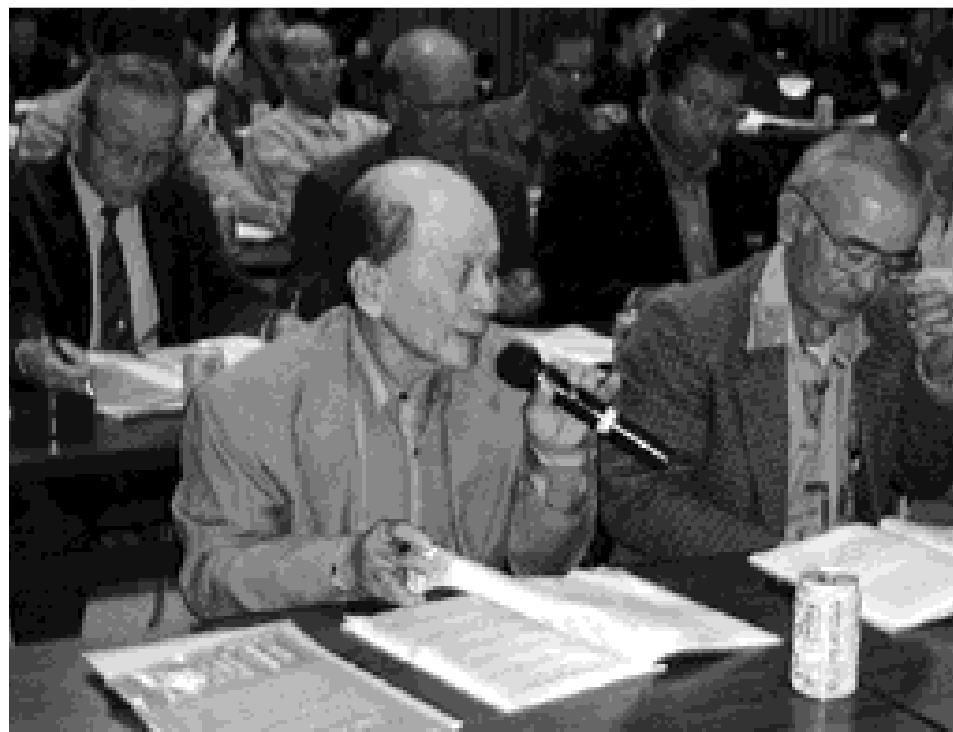
前泊団地 四戸
野南団地 四戸

予定箇所

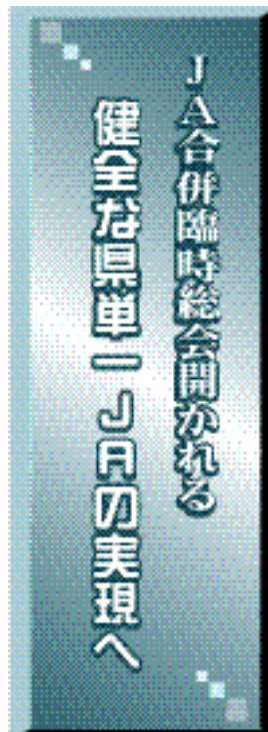
伊平屋村字前泊四六八番地
伊平屋村字野南四〇六番地の二



お問い合わせ 村役場建設課 46-2176



席上では熱心な質問が飛び交います



平成不況といわれる最近の日本経済ですが、農業及び、農村やJ/Aにも影響を及ぼし、内外の情勢は、バブル崩壊後の長期の低金利政策、不良債権の増加等金融・経済環境の激変、農業生産の低迷などが要因となって、農家の経営にも悪循環が続いています。そしてそれは、予想を遙かに超えて急激にJ/Aの収益性の悪化と経営基盤の脆弱化を招くことにもなっています。さらに、平成十四年四月のペイオフ解禁、WTO農業交渉の進展といった、これからの生き残りかけた大競争時代の到来に対し、的確な対応を図る上でJ/A合併構想（北部、中部、南部、宮古、八重山）では限界があるとの見解から、組織整備の見直しを余儀なくされています。また、将来にわたって組合員の営農と生活を守り、地域農業の振興と地域社会の活性化に貢献するため、県内二十七J/Aの合併と連合会を統合した県単一J/A合併が最良の選択肢との判断から第十六回J/A沖縄大会で実践決議を行い、取り組んできました。

そこでJ/A伊平屋村でも、一月十八日（金）午後二時から合併臨時総会が開催されました。総会では、高良武市組合長が「組合員の皆様には合併で不安も残るか存じますが、本県J/Aグループが将来に禍根を残さないとの確信のもとに、健全な県単一J/Aの実現こそが事業・経営を改革する最良の方法であると同時に、協同活動の原点に立ち返る最大の機会であることにご理解賜りますようお願い申し上げます」と挨拶し、その後議長に選出された山川芳明さんが演壇に立ち、議事を進行しました。



山川芳明議長を中心に議事が進みます

て」から第二号「設立委員の選任について」など、第六号まであり、全ての議案が可決されました。これによって、J/A伊平屋村は、平成十四年四月からは「J/A沖縄県伊平屋支店」と名称が変わることとなりました。村民の皆さんもこれまで以上にJ/A沖縄支店伊平屋支店と親しんでいきましょう。

人件費の状況〔普通会計決算〕

Table with columns: 区分, 住民基本台帳人口(11年3月末), 歳入額 A, 歳出額 B, 実質収支 A-B, 人件費 C, 人件費率 C/B. Data for 12年度.

職種区分別・平均給与月額及び平均年齢の状況(平成14年1月現在)

Table with columns: 職種区分, 一般行政職, 教育職, 医療職, 海事職. Rows: 平均給料月額(円), 平均給与月額(円), 平均年齢(歳).

職員給与費の状況〔普通会計職員〕

Table with columns: 区分, 職員数(A), 給与(千円), 職員手当(千円), 計(B)(千円), 1人当たりの給与費(B/A)(千円). Rows for 平成13年4月, 平成14年4月, and 比較.

職員の初任給の状況(平成14年1月現在)

Table with columns: 区分, 一般行政職, 国の制度. Rows: 高校卒, 大学卒.

職員手当の状況

平成14年1月1日現在

Large table comparing 伊平屋村 and 国 regarding 期末手当・勤続手当 and 退職手当. Includes sub-tables for 13年度支給割合 and other addition measures.

Table with columns: 区分, 扶養手当, 通勤手当, 住居手当. Rows: 内, 容.

上記の内容は国の制度と同じです。

昭和56年10月13日付の、地方公共団体における給与等の公表に関する国の指導に基づいて、地域のみなさまに伊平屋村職員の給与制度とその運用の実態をご報告します。

標準財政規模とは？

A 地方公共団体の一般財源の標準規模を示すものです。

Table with columns: 標準財政規模(13年度), 財政力指数(11~13年度). Values: 1,068,424, 0.091.

財政力指数とは？

A 地方交付税の規定により算出した基準財政収入額を、基準財政需要額で除して得た数値の過去3カ年間の平均値。地方公共団体の財政力を示す指数として用いられます。

平成13年度のラスパイレス指数

Table with columns: 伊平屋村, 沖縄県, 市(平均), 町・村(平均). Values: 86.7, 101.4, 97.7, 94.0.

地方公務員の給与は、給与決定原則に則り国家公務員の給与に準ずべきものとされており、ラスパイレス指数は、地方公務員と国家公務員の給与水準を、国家公務員の職員構成を基準として職種ごとに学歴別、経験年数別に平均給料月額を比較し、国家公務員の給与を100とした場合の各団体の給与水準を指数で示したものです。

左記の数字からみて、伊平屋村職員の給与は、国家公務員より13.3ポイント下回っていることになります。

村職員の定員管理及び給与等についてご報告します

伊平屋村の概況

Table with columns: 区分, 人口, 職員1人当たり人口, 普通会計の決算規模(10~13年度), 定員モデル. Rows for 平成10年度 to 平成13年度.

伊平屋村における職員数の状況

部門別職員数の推移

Table with columns: 部門, 区分, 職員数(人), 対前年増減数(人). Rows for 一般行政, 関係社, 特別行政, 公営企業等, 総合計.



優勝の「9対3チーム」



準優勝の「役場Bチーム」



白熱する決勝戦の様子です



強烈な「9対3チーム」のスライク鑑

村民の健康増進とスポーツ精神を養い、技術の向上と相互の親睦を図ることを目的とした第十三回各種団体対抗球技大会（伊平屋村体育協パレール大会）が、十五日（日）村民体育館で行われました。

当日は午前九時、体育協会の高良武市副会長による開会宣言によってスタート。その後、宮城邦雄会長による挨拶、山川幸広審判長の審判長注意、選手宣誓、伊差川肇副会長に

よる開会宣言があつて競技開始。各チームとも一月二十一日から二月一日まで、村民体育館や学校の体育館を利用して練習を重ねてきただけあつて、動きも軽快そのもの。試合も予定通りに進行していきます。

結果は連続試合をものともせず役場Bチームが決勝進出を決めました。攻守ともに勝る九対三チームにストレート負けを喫して、終了となりました。

今大会は、前日から体協球



村体協パレール大会 熱戦そして激戦！ 制したのは…

技部により会場を設営し、役場チーム以外の一般チームの健闘もあつて、会場全体が盛り上がりました。また、観客の方も多く、試合が終了しても、最後までほとんどのチームが残っていて、選手、観客双方とも楽しんでる様子が見えま

そして、熱戦の雰囲気冷めやらぬ中、高良武市副会長による開会のことば、山川幸広審判長による成績発表、宮城邦雄会長による表彰、その後講評、伊差川肇副会長による閉会のことばによって無事終了。開会式から、試合、閉会式まで素晴らしい大会となりました。

大会運営を担当した教育委員会の新城朗男さんに話をうかがうと、「今年は、行事等が重なり、予定の十一月から二月への変更で参加チームが少なくなつてしまいました。ただ、二月という忙しい時期としては多く集まったのではないかと思います。次回はもっと多くのチームが参加してもらいたいと思います」と語ってくれました。

たくさんの方の村民の参加で大いに盛り上がった体協パレール大会。選手、関係者、観客の皆さん、お疲れさまでした。

特別職の報酬等の状況

給料	村長	767,000 円	報酬	議長	268,000 円	期末手当	13年度支給割合	6月期	1.45 月分
	助役	621,000 円		副議長	222,000 円		12月期	1.55 月分	
	収入役	583,000 円		委員長	209,000 円		3月期	0.55 月分	
	教育長	583,000 円		議員	207,000 円		計	3.55 月分	

平成 13 年度全職員（職種別・課別・級別）職員数の状況

平成 14 年 1 月 1 日現在

行政職

	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級	課別計
	主事補技師	主事補技師	主事技師	主事技師	主任係長	主任係長	主任係長	
議会事務局					1		1	2
総務課		1	3		1		1	7
企画財政課			1		1		1	4
住民課		1	1		1	2		9
保育所			2		4	1		7
農林土木課		1			2		1	5
経済観光課		1	1		1		1	4
空港建設推進室							1	1
建設課		1	1		1		1	4
農業委員会								
教育委員会	1	1			1			6
幼稚園					1			1
公営企業課			1		1		1	4
計	1	6	10		8	9	6	54

教育職

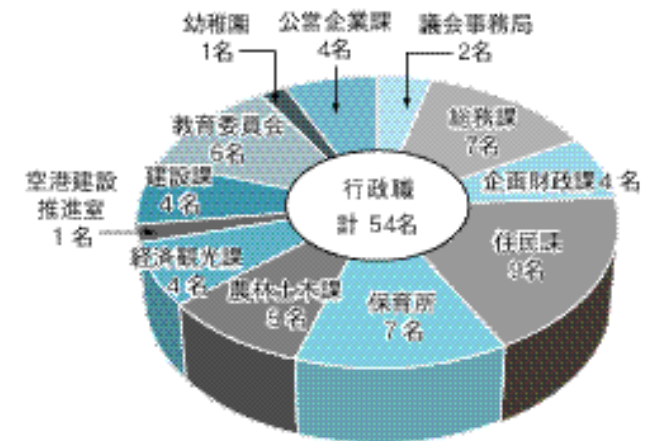
	1 級	2 級	3 級	4 級	合計
		教育指導主事			
教育委員会		1			1
計		1			1

医療職

	1 級	2 級	3 級	4 級	合計
		保健婦			
住民課		2			2
計		2			2

海事職

	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	合計
	甲板員	甲板員	甲板員・通信員	二等機関士	二等航海士	一等航海士	
フェリーいへや		3	6	1	1	1	15
計		3	6	1	1	1	15



赤い羽根・歳末たすけあい運動にご協力ありがとうございました

平成 13 年度共同募金報告

牛戸別募金去

地	区	募金額
田	名	29,000
前	泊	29,500
我	喜	54,000
島	尻	52,500
野	甫	15,500
合	計	180,500

牛法人募金去

法	人	募金額	
城	間	建設	10,000
大	進	工業	10,000
沖	縄	テック	10,000
伊	平	屋興業	10,000
上	原	組	10,000
山	川	設備	10,000
太	名	嘉組	10,000
仲	川	電設	10,000
伊	葉	開発	10,000
世	樹	建設	10,000
伊	東	建設	10,000
三	伊	土木	10,000
太	盛	工業	10,000
大	翔	建設	10,000
三	喜	産業	10,000
光	平	建設	10,000
孝	和	土木	5,000
伊	平	屋酒造所	5,000
伊	平	屋給油所	5,000
三	社	自動車	5,000
合	計	180,000	

牛職域募金去

職	場	募金額
村	4 役	20,000
村	役場総務課	9,000
村	役場企画財政課	6,000
村	役場住民課	13,000
村	役場建設課	7,800
村	役場農林土木課	9,000
村	役場経済観光課	5,500
村	役場公営企業課	24,500
村	議会事務局	31,000
伊	平屋保育所	9,500
伊	平屋郵便局	2,800
伊	平屋診療所	2,000
伊	平屋小学校	8,000
伊	平屋中学校	6,000
野	甫小中学校	6,500
伊	平屋村商工会	3,000
伊	平屋村農業協同組合	11,000
伊	平屋村漁業協同組合	5,000
伊	平屋村社会福祉協議会	24,000
伊	平屋村教育委員会	8,000
合	計	211,600

牛その他去

そ	の	他	募金額	
名	護	市山田荘	50,000	
松	金	ホテル	5,000	
ホ	テ	ルにしえ	5,000	
内	間	荘	5,000	
宮	城	事務用品社	10,000	
ス	ナ	ックドリーム	10,000	
ス	ナ	ック月見	5,000	
各	ス	ー	パー募金箱	13,354
心	新	会チャリティー	23,200	
理	容	室サムソン	3,000	
居	酒	屋釣り吉	5,000	
居	酒	屋海漁	5,000	
居	酒	屋花結	10,000	
平	成	12年度繰越分	1,100	
合	計		150,654	

募金総額
722,754 円
内 訳
赤い羽根募金 635,654
歳末たすけあい 87,100

平成 13 年度の赤い羽根共同募金・歳末たすけあい運動は村民・職場のあたたかいご協力により、大きな実績をあげることができました。厚く御礼申し上げます。
この善意の募金は、社会福祉協議会の行う在宅福祉サービス事業に活用されるのをはじめ、県内福祉施設へ配分されます。
平成13年度歳末たすけあい運動義援金の配分が平成13年12月28日に沖縄県共同募金会および村社会福祉協議会より村内の寝たきり老人、一人暮らし老人、心身障害者、生活困窮世帯(4,000 × 42 世帯)へ配分いたしました。



我喜屋ダム取水堰完成
村民を水害から守り、
安全で潤いある生活を創造



伊平屋島を流れる河川のひとつ、中の川は、洪水にやぶたびたび氾濫してきました。このため、一九八二年度から団体営かんがい排水事業として整備され、治水が図られてきました。それが、それでも川岸の決壊や氾濫が繰り返されてきました。また、人口や観光客の増加で水不足が予想されること、シチフ川の流水の補給や河川環境の保全を図るため、我喜屋ダムの建設が必要となりました。



そこで、平成九年十月に我喜屋ダム付替道路工事が着手され、平成十三年四月のダム本体工事着手を経て、このたび、取水堰が完了しました。
この後も、平成十三年三月には池川大橋、あけしの橋、こえしの橋の親柱が完成、除幕予定となっております。
村民の安全と水資源の確保を目的とした我喜屋ダムの完成を祝いたいですね。



村内美観二題
花いっぱい美しい島に！



松金旅館入り口

伊平屋村では年間を通して様々な行事があり、大きな行事の際には多くの観光客が訪れます。また普段から、ビジネス客も多く来村しています。その多くの来村者に美しい島の姿をアピールしようと、最近様々な美観への取り組みが行われています。
字我喜屋の松金旅館前と松野荘前では、美しく整備された花壇や鉢植えの花々が人々の目を惹きつけています。
はじめは宿泊するお客さんを意識してはじめたという松金旅館の伊礼征男さんは、「花



美しい花が咲きほこっています

を植えるようになって今年で満五年になります。最初はタイワソレンギョソウ(木)を植えたんですが、台風でやられてから花にしました。最初は照れくさくて人から隠れて水やりしたりしていましたが、今では趣味のようになって、夏は一日一回、冬は一日一回の水やりがとても楽しみになっています。すこすこ語ってくださいました。そして、「観光という点からも、みんなが自然に美観に取り組んでいけると良いと思います。花を上げて、癒しの島を目指せたらいいですね」とも語ってく



もっともっと充実します

また、伊平屋中学校前の伊平屋村民憲章碑の前の花壇には、伊平屋村の地図を模したリュウノヒゲが植えられています。このリュウノヒゲは、役場前の花壇等の土壌流出防止用としても植えられています。今後、も美観活動を推進していきたくて、伊平屋村役場総務課係長の比嘉幸四郎さん、伊平屋村の地図を模したリュウノヒゲは、実は比嘉さんのアイデア。まだ未完成ですが、これから充実させていきたいです。通りかかると人の目を惹きつけていきます。」とやる気満々のコメントを頂きました。
道行く人を楽しませる、花がいっぱいあふれる島を目指して、みんなで頑張っていきましょう。